

氏名 <small>(法人にあっては名称)</small>	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー
住所	広島県広島市南区段原南1丁目3-52
計画期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
基準年度(*1)	平成30年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	百貨店・総合スーパー (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：5611)
事業の概要	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー：中国5県、四国4県、と福岡県の一部にて総合小売業(GMS、SM他)を実施。

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制

<p>弊社は、ISO14001を取得しており環境負荷を軽減に行う業務を実施。支社長、事業部長、各店舗の店長、人事総務課長が中心となり温室効果ガスの抑制に関する業務の推進を行っている。</p>

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	平成30年度	令和元～令和3年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス実排出量(*5)	7,586 t-CO ₂	7,434 t-CO ₂	2.0 %
温室効果ガスみなし排出量(*6)		7,434 t-CO ₂	2.0 %
目標設定の考え方	店内照明の効率化(LED照明の入替)、空調機の入替による効率改善、冷蔵冷凍展開エリアの見直し及び機器の改善に取り組む。		

- *1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制制度を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。
- *2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。
- *3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。
- *4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。
- *5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。
- *6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標 (※任意記載)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	平成 30 年度	令和元～令和3年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$
イオン宇品店	2761	2706	2.0 %
イオンみゆき店	1367	1340	2.0 %
イオン広島祇園店	3457	3388	2.0 %
原単位の指標及び目標設定の考え方	店内照明の効率化 (LED照明の入替)、空調機の入替による効率改善、冷蔵冷凍展開エリアの見直し及び機器の改善に取り組む。		

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

<p>①照明エリアの電気使用量削減 照明：現在使用のLED照明については投資からすでに6年経過している為、現行の照度の改善、電気使用量の改善を考え、時期を見て入替投資を実施する。</p> <p>②空調の考え方 空調：電気使用、ガス使用の機器があり、機器の展開期間に大きな差が発生している為、全体的に判断し効率の良い入替を行い省エネを実施する。</p> <p>③冷蔵・冷凍機器について 冷凍・冷蔵機器：店舗の開店から使用している食品部署の冷蔵冷凍機器について、投資効率や投資時期を考え入替を実施する。冷凍食品の販売個数、売上について期待がかかるが、食品売場のレイアウトや品揃えも考え、無駄のない展開投資を実施していく。</p>
--

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容 (環境価値(*8)の活用等)

-

(5) 温室効果ガスの排出の抑制等に関する基本方針

<p>ISO14001の基本方針に基づく事業活動の環境効率を向上させ、環境への負荷を低減させます。特に地球規模の課題である温暖化防止について重点的に取り組みます。</p>

5 その他の取組

<p>お客様からの協力により、生活の中から生まれる環境改善の取り組み</p> <p>①お客様の買い物袋持参運動によるビニール袋の枚数削減</p> <p>②環境に配慮した商品の販売強化</p> <p>③お客様が商品とともに購入した食品トレイ、透明トレイ、ペットボトル、牛乳パック、缶、ビンなどのリサイクルできる物を店舗にて回収し、リサイクル業者にお渡しする「店頭リサイクル回収」の実施。</p>
--

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。
 *8 環境価値とは、ワセツクルジツト制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	イオン宇品店
事業所の所在地	広島県広島市南区宇品東6-1-5
事業所の業種	百貨店・総合スーパー
事業の概要	総合スーパー（食品・住生活・衣料品ほか）

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	平成30年度	令和元～令和3年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス 実排出量	2,761 t-CO ₂	2,706 t-CO ₂	2.0 %
温室効果ガス みなし排出量		2,706 t-CO ₂	2.0 %
目標設定の考え方	店内照明の効率化（LED照明の入替）、空調機の入替による効率改善、冷蔵冷凍エリアの見直し及び機器の改善に取り組む。		

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

<p>①照明エリアの電気使用量削減 照明：現在使用のLED照明については投資からすでに6年経過している為、現行の照度の改善、電気使用量の改善を考え、時期を見て入替投資を実施する。</p> <p>②空調の考え方 空調：電気使用、ガス使用の機器があり、機器の展開期間に大きな差が発生している為、全体的に判断し効率の良い入替を行い省エネを実施する。</p> <p>③冷蔵・冷凍機器について 冷凍・冷蔵機器：店舗の開店から使用している食品部署の冷蔵冷凍機器について、投資効率や投資時期を考え入替を実施する。冷凍食品の販売個数、売上について期待がかかるが、食品売場のレイアウトや品揃えも考え、無駄のない展開投資を実施していく。</p>
--

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容（環境価値の活用等）

-

2 その他の取組

<p>お客様からの協力により、生活の中から生まれる環境改善の取り組み</p> <p>①お客様の買い物袋持参運動によるビニール袋の枚数削減</p> <p>②環境に配慮した商品の販売強化</p> <p>③お客様が商品とともに購入した食品トレイ、透明トレイ、ペットボトル、牛乳パック、缶、ビンなどのリサイクルできる物を店舗にて回収し、リサイクル業者にお渡しする「店頭リサイクル回収」の実施。</p>
--